

マスコミ各位

平成28年1月20日（水）

沖縄県保健医療部健康長寿課 結核感染症班

担当：平良、山内

電話：098-866-2209

インフルエンザの流行状況(第1報)について ～注意報発令～

1 概要

感染発生動向調査によるインフルエンザの患者報告数は、昨年末より増加傾向を示していましたが、平成28年第2週(1月11日～1月17日)に、定点あたりの報告数が12.22人(定点医療機関58カ所、報告数709人)となり、注意報発令基準値の10.00人を超えましたので、注意報を発令します。

年齢別では、5～9歳が160人(22.6%)で最も多く、次いで1～4歳127人(17.9%)、30代80人(11.3%)、20代78人(11.0%)、10～14歳68人(9.6%)の順となっています。また、第1週～第2週に検出されたインフルエンザウイルスの型別割合は、A型80.5%(845/1050)、B型19.5%(205/1050)となっています。

今後、流行の拡大を抑えるためにも、「手洗い」や「咳エチケット」などの感染予防策を徹底してください。

2 インフルエンザの患者発生状況

感染症発生動向調査事業において県内のインフルエンザ58定点医療機関(小児科定点:34、内科定点:24)の協力を得て、患者情報を週単位で収集し、全国約5,000カ所の定点情報と併せて分析し、県民及び医療機関に情報を提供しています。

(1) 定点当たりの患者報告数(直近の7週間)

	週	49週 11/30 ～12/6	50週 12/7 ～12/13	51週 12/14 ～12/20	52週 12/21 ～12/27	53週 12/28 ～1/3	1週 1/4 ～1/10	2週 1/11 ～1/17
県	患者数	55	74	58	159	353	475	709
	定点当	0.95	1.28	1.00	2.74	6.09	8.19	12.22
全 国	患者数	1043	1690	2270	3734	4290	9964	
	定点当	0.21	0.34	0.46	0.76	0.89	2.02	

※感染症発生動向調査システム上の警報・注意報の発令基準値

流行注意報：定点当たり10人以上

流行警報：定点当たり30人以上

第2週の保健所別定点あたり患者報告数は、那覇市保健所が17.17で最も多く、次いで南部保健所14.57、北部保健所13.60、中部保健所10.45、宮古保健所5.50、八重山保健所0.00の順となっています。

(2) 年齢別患者報告数 (第2週)

年齢群	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	合計
患者報告数	13	127	160	68	41	78	80	63	33	46	709
(%)	(1.8)	(17.9)	(22.6)	(9.6)	(5.8)	(11.0)	(11.3)	(8.9)	(4.7)	(6.5)	

(3) 休校、学年・学級閉鎖の状況

第2週は、学級閉鎖5校(南部保健所管内小学校:4、那覇市保健所管内小学校:1)が報告されています。

3 インフルエンザの感染予防策 (別添チラシ参照)

(流行時の予防方法)

- ① 食事の前や帰宅後には、必ず「手洗い」をしましょう。
- ② バランスよく栄養を摂取し、十分な睡眠をとりましょう。
- ③ インフルエンザワクチンの**予防接種**は、早めに受けましょう。
- ④ 「**咳エチケット**」を実行しましょう。
- ⑤ 室内の換気に気をつけ適切な湿度を保ちましょう。
- ⑥ インフルエンザが流行しだしたら、不要不急の外出を避けましょう。

4 インフルエンザに罹ってしまったら

- ① かかりつけ医にまず相談、受診しましょう(救急医療をつぶさない)。
- ② 感染を広げないために、会社や学校を休み、安静にしましょう。
- ③ マスクを着用し、咳やくしゃみをする時は「**咳エチケット**」を守りましょう。

5 注意喚起のお願い

県では、インフルエンザの予防及び蔓延防止を図るため、別添チラシを作成し、関係機関へ配布したところです。マスコミの皆様もインフルエンザの予防等の周知について、ご協力いただきますようお願いいたします。

※インフルエンザ流行についての情報は、以下のサイトもご参照下さい。

チラシは沖縄県感染症情報センターホームページからダウンロードできます。

沖縄県感染症情報センターホームページ <http://www.idsc-okinawa.jp/>

国立感染症情報センターホームページ <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.htm>